



CANジャーナル

2023
令和5年
3月号特集号

学校法人 中村学園
専門学校 静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

令和4年度
専門学校静岡電子情報カレッジ 第36期生
静岡福祉医療専門学校 第24期生

Congratulations on Your Graduation!!

理事長・校長 中村 徹

令和4年度、本学両校の栄えある卒業生の皆さん、修業年限2年と3年制の工業・商業、医療、介護・福祉、保育・幼児教育各分野の「**職業実践専門課程**」を修了し、文部科学省高等職業教育の「**卒業証書**」及び「**専門士の称号**」授与に、静岡福祉医療専門学校の卒業生は併せて、厚生労働省の各「**職業養成課程修了と国家資格又は受験資格**」取得おめでとうございます。皆さんは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって大きな影響を受けた中で、たゆまぬ努力を重ねて専門スキルを身に付け、本日を迎えられる強い精神力を讃えます。

特に、留学生の皆さんは、母国を離れ、言葉や文化、環境が異なる日本での生活は不安な日々の中、前向きな姿勢と異文化と協調する能力の高さに深い感銘を受けました。

さて、本学での集大成として、皆さんが本学入学時の目標であったキャリアデザインの具現化実現の一步を今ここに踏み出されようとしております。

皆さんは本学独自の専門職中核的人材育成教育に、最先端 ICT、映像音響エンタメ、医療、福祉・介護や幼児教育・保育等の第一線の各業界人の指導を受け、**産学連携**で「**実践的職業教育プログラム**」により育成されたスペシャリストとして社会へ旅立つところまでできたのです。

これからはしっかりと社会的責任を自覚し、社会での評価を得て、本学の教えでもある「**仕事を通して自己実現を図る**」の具現化、**プロフェッショナル**としてその道の「**達人**」を目指してください。

時代は大きな転換期

さて、私たちは今年度も新型コロナウイルス感染症の蔓延に見舞われ、大変な不便さを余儀なくされてきました。行動は制限され、経済は急激な縮小を強いられている状況にありました。本学においても、4月当初から新しい生活様式による学校生活により、入学式や新年度オリエンテーションだけでなく、就職活動をはじめ当たり前のことが当たり前にできない大変な新年度のスタートを切ることになりました。授業形態も実習・演習は可能な限り対面授業で、講義授業はオンライン授業を主に組み替えて日課変更や自宅履修により国試受験には事欠かない履修環境整備、また施設実習は受入施設が半減また直前に実施施設変更を余儀なくされる等感染防止と教育活動の両立を目指してきました。

そして、この新生活様式は社会のデジタル化を加速させ、世界的なインターネットが生み出した膨大な情報を AI 技術によって社会が活用していく新

たな社会像が提起され、価値がモノから情報に移り、情報資本に立脚した社会への転換が起こるとされてきました。皆がこれから活躍する社会は、デジタルを活用し、AIによる情報を価値化することで優位な競争力を生む社会なのです。我々がこの社会で生きていくためには、これらの**変化への対応力**と**ダイバシティへの適応力**を身に着け、「**新たな知識を常に取り入れていくこと**」**ブラッシュ・アップ**が日々の生活の中に求められる。リスキリング、リカレントを生かす。

本学での職業教育修了は、人生の節目ではあるが、「学び」からの卒業ではなく、社会人として、生かされている者として、むしろ「**一生を通して自己実現を図る**」、「**試行錯誤の中からクリエイティブな精神を培う**」という本学の教えを、社会において新たな知識の獲得と創造のスタートラインに立ったということなのだ。

本学の職業人材育成教育としての次のステージは「**DX**による新たな価値創出」社会での職業人材育成教育のための**データサイエンス教育**なのです。
DX : Digital Transformation

学校生活の集大成 SDG s CAN スカラシップ フィールドスタディ

CAN スカラシップ：フィールドスタディの活動、卒業研究・ゼミナール、ケアスタディ・臨地実習報告・発表会においては、各学科、各コースの特性を大いに活かし、「**時代に即した、将来に向けた研究テーマ**」が設定され、研究に携わった一人ひとりの個性と知識・見識を集結し、試行錯誤の中からプレゼンの完成度も高めた。この研究を通して、**クリエイティブな精神**をより**培い、まさに本学の「建学の精神」の具現化を図っている**。この機会は、今後益々高度化する現代社会で、社会人となる皆に求められるものを創造する難しさを痛感させ、自らの力を見つめ直し、社会に一步を踏み出す大きな「**自信**」につながる大変有意義な機会となったはずだ。

専門学校静岡電子情報カレッジでは「**モノづくりの醍醐味**」につなげる制作プロセスやターゲット設定、コンテンツとの整合性のスキーム発表内容であった。面白いアイデアと自分たちのスキルを追求した作品で全体のクオリティも高かった。試行錯誤し、自分達は生きた勉強をさせて頂いたんだということを今後の仕事に活かしながら成長して行ってほしい。

今後は**Society5.0 : CPS**(CyberPhysicalSystem)サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムによる新たな未来社会「**ウーブン・シティ**」: ICT、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、メタバース等のデジタル革新による「**生産性向上**」だけでなく「**社会のありよう**」まで変えようとする提唱。この分野での**先導的継続研究に期待する**。

また、静岡福祉医療専門学校では「**時代に即したテーマや背景が色濃く反映**」され、そのプレゼン技法にも創意工夫が見られ、大変感激させられた。各学科ともこれまでの**学びの姿勢や探究心**に満ち溢れ、それぞれの**職業観**が

よく表現され、「**若い感性**」による上達したプレゼンに称賛の拍手を送った。そして、今後も研鑽重ね、「**自信**」と「**誇り**」を持ち、「**スペシャリスト**」としての道を切り拓いていただきたい。

残してくれたみんなの集大成は、本学の貴重な財産である！！

プレゼンを通しての高評価は、学生だけに留まらず、我々教職員にも大きな「**自信**」となり、これからの学生指導への大きな「**励み**」となった。

この成果は次年度に継承され、今年度以上の大きな成果を期待するところだ。

特に、電子の「**産学連携プログラム**」や「**コラボによる付加価値創造**」につながるレベルの研究、福祉においては「**地域に開かれた専門学校**」に基づく「**ボランティア：地域活動**」等の**後輩への継承**を強く期待する。

また、海外研修修学旅行代替行事：SDG sをテーマ「**東京研修**」も見事に成功させた。

I was born.Keep alive.「**人は、生まれ、生かされている**」、「**人は誰もが、無限の可能性を秘めている**」 ゆえに、

「**日本人としてのアイデンティティを持ち、仕事を通して自己実現を図る**」と職業教育を熱い心で教え、「**人づくり 60年**」の生涯教育者であった本学園創設者の教えを卒業後の社会生活の中でも活かし、「**りっぱな社会人**」になっていたいただきたい。

これから社会に出ても、本学の教えである、常に何事に対しても、日々「**前向きな気持ち**」を忘れずに、「**試行錯誤**」の中から「**自己実現**」を図り、「**これだけの事をやったんだ**」という「**自信**」と「**誇り**」を持って、君たちの時代を築いてください。

また、皆さんが人生の中で困難に直面し、立ち止まった時には、気楽に本学に戻ってきて下さい。本学は皆さんが戻ってきて、共に考え、社会にリスタートできる基盤となるべく準備をして待っております。

そのためにもプロフェッショナルとしての卒業生の皆さんの力で、本学の**実践的職業教育「人づくり」**を社会から支えて頂きたい。卒業生の皆さんは今後も本学をよりよくするための大切な人的インフラです。**これは、卒業生だからこそできることなんです。**

そして、たまには学校に寄って、元気な顔を見せて下さい。

最後に、このように令和4年度「**卒業証書授与式**」を迎えられることができたことを、先ずは卒業生のみんなに敬意を表するとともに、卒業生とともにここまで学校生活を支えていただいた保護者の皆さん、また、試行錯誤のうえ今日の日を迎えられるよう尽力頂いた在校生及び教職員に対して心より感謝申し上げます。

それでは、健康には十分留意され、

君たちの新たなる旅立ちに、心より幸多きことを祈る！

Bon Voyage

担任の先生方からのメッセージ

副校長・IT ゲーム&ロボットシステム学科 有賀 浩
卒業おめでとう！

やっと新型コロナが落ち着いてきて、本学園50周年の記念事業、東京への研修修学旅行、学内外のイベント活動が行え、実り多い1年間となりました。本学にとって大きな財産が残せたこと、心から嬉しく、また感謝の気持ちでいっぱいです。

コロナによって、ICT分野の勢いが一段と活発になりました。リモート・ワークやオンライン授業はもはや当たり前。チャットAIが話題となり、業務だけでなく日常生活でもAIを活用しないと損をする時代となりました。クルマは自動運転が実用化され、2025年大阪万博では遂に空を飛び乗り物に化けます。時代の流れは更に加速しています。

4月から、そんな世の中でプロフェッショナルとしての人生を歩み始める卒業生の皆さん。如何なる時代にあっても、本学の「全人教育」を通して身につけた「自信」と、元氣よく笑顔で心から湧き出す「挨拶」で、明るい未来を築き、大きな幸せをも創造して下さい！また、卒業後母国へ帰る留学生の皆さん、どうかいつまでも母校と日本での経験を忘れずに活躍してください。いつまでも夢を失わず、校訓「技術は力なり、我は我が道を行く」、仕事を通して常に自己を成長させて行って下さい。

みなさんの笑顔に再会できる日を楽しみにしています！

教頭 富田 順子

ご卒業おめでとうございます。

コロナ禍において思い描いていたような学校生活、就職活動ができなかった人も多かったのではないのでしょうか。それでも、制限が多く不自由な社会の中で考えたこと、工夫することにより実現できたことなど、経験したこと全てが自分の糧として積み重なり、皆さん自身を成長させ人生を豊かなものにしてくれると思います。

これからの長い人生、楽しいことも苦しいこともたくさんあると思います。これまで学んできたことを自信とし、自分を信じて堂々と歩いてください。

それぞれの進路での更なる活躍を期待しています。



進路室長 橋野 幸男

ご卒業、おめでとうございます。

皆さんは、コロナ感染拡大の波が幾度も襲ってくる中で、学生生活を過ごしました。正課、課外や学外活動のいずれにおいても、制約の多い生活を強いられてきました。

しかし、皆さん自身の努力に加え、地域社会のご理解・ご協力により、「職業実践専門課程」での「産学連携教育プログラム」を修了し、実社会に出る「実力と自信」を涵養することができました。

実習、インターンシップやボランティア等でお世話になった「現場」では、困難な状況の中でも、地域福祉の維持やサプライチェーンの確保のため、各々の業務に懸命に取り組む方々の姿を、数多く見てきました。そうした姿から、かのカミュ著『ペスト』の主人公、若き医師リウーの言葉を思い出した人もいます。彼は、「ペストと戦う唯一の方法は、誠実さということだ」と語り、「誠実さって何？」と問われて、こう答えます。「僕の場合には、つまり自分の職務を果たすことだと心得ています」と。

コロナ禍という逆境は、皆さんに『誠実さ』を土台とするモチベーション』をより深く、我が事のごとく知るといふ、貴重な機会を与えてくれたのです。今後の人生で、ぜひ、本学と地域でのこのような経験を活かし、「自らの成長」と「社会への貢献」の両輪を果たす人材としてご活躍ください。



音響&映像メディアクリエイト学科 五味 正太郎

皆さん卒業おめでとうございます！

これから、社会人として羽ばたいていく学生の皆に一つの言葉を贈ります。

それは「Some people feel the rain. Others just get wet.」です。これは「雨を感じられる人間もいれば、ただ濡れるだけの人間もいる。」という意味です。これからの人生で多くの失敗や辛い経験を重ねていくと思いますが、それをどう考えるのか、どう感じるのかはその人次第です。失敗をただの失敗で終わらせるのか、次につなげていけるのか、それが社会に出たら重要になります。私自身も今でも失敗を繰り返していますが、そんな時に笑って前を向ける人間を目標にしています。

どうしても辛くてどうにもできないときは、教員に頼ってみてください。皆さんは卒業しても教員達の大切な教え子です。また、そうでなくても元氣な顔を見せに学校に来てください！また会えることを楽しみにしています。

「自分を信じて羽ばたこう！」

子ども心理学科 後藤 明子

4月から社会人となる皆さん、目に見えない不安と素敵な人や出来事に出会えるかもしれない期待が入り混じっていると思います。人の行動は、考え方の変換でいかようにも変化します。「怒られたらどうしよう・・・」「忙しすぎたらどうしよう・・・」など、不安を考えたばかりがありません。でも、注意された時は、「自分が変わるチャンスだ。」忙しすぎたら、「どこまでチャレンジできるか、自分を試そう。」など、発想の転換ができる人、これを「人間力が高い」というのでしょうか。皆さんにはまだまだ可能性が秘められています。秘められた可能性を自分で掘り起こすための考え方ができるよう、自分を鼓舞してください。そして、他人を思いやる心と言葉をもってすれば社会は皆さんの見方です。幸せな人生を歩んでください。卒業おめでとうございます。

総合福祉学科 井川 真世

ご卒業おめでとうございます。いよいよ社会人として、そして専門職としての第一歩の始まりですね。コロナ禍において皆さんの学生生活は制限が多く、悔しいこともたくさんあったと思います。しかし、今だからこそ身についた知識や技術を今後大いに発揮してください。皆さんには、この先も『そうぞうする力』を大切にしたいと思えます。一つは、利用者やご家族、相手が何を望んでいるのか、どのような未来を描きたいのかといった『想像力』、そして、自分には何ができるのか、どんな工夫ができるのかという『創造力』です。この先つまずいても、前を向いて、上を見上げて前進してください。学校生活や実習で出会った仲間、先輩、家族、教職員がいることを忘れないでください。皆さんの明るさ、真面目さ、優しさで多くの人を笑顔に、そして何より自分自身が笑顔でいてください。

今後の皆さんの活躍を楽しみにしています。素敵なご縁をありがとうございました。

介護福祉学科 隈本 つばさ

みなさん、ご卒業おめでとうございます！！この日をみんなで迎えられることができ、ほっとしています。みなさんと過ごし1番思ふことは「みんなあたたかい」ということです。だらしのないことも多くありましたが、学校生活・実習では本当にみなさんの優しさやあたたかさがとても伝わった2年間でした。久しぶりに1・2年と担任をさせていただけたのが、みなさんで良かったと思います。

今後社会に出てからも、周りの人たちのことを想うあたたかい気持ちを大切に、周りから愛され可愛がられるみなさんでいてください★